



平成 30 年 9 月 19 日
佐賀大学理工学部

ICT まちづくり防災デザインに関する研究経過報告会を開催

【概要】

ICT まちづくり防災デザインに関する研究経過報告会を、平成 30 年 6 月 7 日に肥前浜宿（鹿島市）において開催し、地域住民の皆様へ取り組み状況を報告しました。

【本文】

平成 30 年 6 月 7 日に、佐賀大学 ICT まちづくり防災デザイン研究所において研究対象地区となっている肥前浜宿（鹿島市）を訪問し、浜公民館において「ICT まちづくり防災デザインの研究経過報告会」を開催しました。これは、一昨年、昨年に引き続いて 3 回目の開催に当たり、この 1 年間に得られた研究成果を地域住民の皆様へ報告するという位置付けです。佐賀大学側からは、総勢 8 名（内訳：教員 2 名、学生 6 名）が参加し、教員グループごとに取り組み状況を報告しました。主な内容は、次のとおりです。

- 1) 低平地の町並みにおける高台避難検証に関する研究
（都市工学専攻博士前期課程 1 年・峰 雄大さん）
- 2) 建物倒壊時における歴史的町並みの最適避難経路分析に関する研究
（電気電子工学専攻博士前期課程 1 年・土屋 裕大さん）
- 3) ニューラルネットワークを用いた町並みの危険箇所分類に関する研究
（電気電子工学専攻博士前期課程 2 年・田中 裕恒さん）
- 4) 住民目線でみた町並みハザードマップに関する研究
（都市工学科・三島 伸雄 教授（知能情報システム学科・岡崎 泰久 教授の代理））

報告に引き続いて、地域住民の皆様との間で意見交換を行いました。

なお、当日の様子は、ICT まちづくり防災デザイン研究所の Facebook ページにも掲載されています。（<https://www.facebook.com/sadai.ictdpd.project/posts/2158067921095680>）



研究経過報告会の様子



都市工学専攻 峰 雄大 君



電気電子工学専攻 土屋 裕大 君



電気電子工学専攻 田中 裕恒 君